

CONTENTS

社会環境報告書作成に当たって	1
社長あいさつ	2

会社概要

会社概要・事業概要	3
財務ハイライト	4
コーポレートガバナンス	5

環境報告

2003年度ハイライト	
ゼロエミッションを達成	7-8
新本社建設における環境配慮	9-10
環境配慮タイプ新製品	11-12

環境マネジメントシステム

ムラタ環境憲章・推進体制	13-14
ISO14001・環境教育訓練・啓発	15
環境監査	16
環境コストマネジメント	17-18

グリーンプロダクツ

環境に配慮した製品づくり	19
グリーン調達	20
製品中の環境負荷化学物質対策	21
RoHS対応	22
包装材料の削減・物流省エネルギー	23

クリーンファクトリー

地球温暖化防止	24
省資源・廃棄物削減	25
化学物質管理	26
生産工程の環境負荷化学物質対策	27
環境リスクへの対応	28
土壌・地下水汚染対策	29-30

ムラタの環境保全活動の年表	31
---------------	----

社会性報告

ステークホルダーとのかかわり

お客様：CS・品質保証	33
サプライヤー：資材調達方針	34
従業員：人事制度	35
従業員：労働安全衛生	36
社会・地域：社会貢献・緑化	37

グループ各社の紹介	38
-----------	----

事業所別環境データ集	39-51
------------	-------

社会環境報告書2004アンケート	52
------------------	----

問い合わせ先	54
--------	----

社会環境報告書作成に当たって

- この報告書では、国内外村田製作所グループにおける環境保全活動及び社会的活動に関して、基本的な方針、主に2003年度の実績、並びに今後の計画を報告します。
- 企業の社会的責任としての説明責任を果たすため、環境報告に社会性報告を加え、社会環境報告としています。
- この報告書の作成に当たっては、GRK (Global Reporting Initiative) による「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」、環境省「環境報告書ガイドライン2003年度版」、経済産業省「環境レポートガイドライン2001」などを参考にしています。
- 本文中では、国内外村田製作所グループを総称して「ムラタ」と表現しています。
- この報告書に記載されている各種統計は、直近の事項まで含むよう配慮しておりますが、編集発行の都合上必ずしも発行日現在の状況と一致しないことがあります。

報告書の対象範囲

対象組織：株式会社村田製作所及び国内外の子会社・関連会社を対象としています。

ただし、各種の環境データに関しては、とくに注記のない場合は、38ページ「グループ各社の紹介」の*印を付した株式会社村田製作所及び国内外の生産子会社を対象としております。

対象期間：2003年度(2003年4月1日～2004年3月31日)

ただし一部、2002年度以前並びに2004年度以降の取り組みや計画を記載している部分もあります。

社長あいさつ

社 是

技術を練磨し

科学的管理を実践し

独自の製品を供給して

文化の発展に貢献し

信用の蓄積につとめ

会社の発展と

協力者の共栄をはかり

これをよろこび

感謝する人びとと

ともに運営する

企業は、社会を豊かにし、より良い環境を作り出す存在でなければなりません。

村田製作所グループ(以下「ムラタ」)は、1944年の創業以来、エレクトロニクス産業の発展、進歩を通じて社会の発展に貢献することを目指し、創業以来の経営理念をまとめた社是を全社員の思考と行動の基本としてきました。

さらに、創業50周年を機に、エレクトロニクス社会の発展を通じて、世界の人々の豊かな生活の実現のために貢献してゆくことを願って私たちのあり方をムラタのMind Identity (Innovator in Electronics)で表しました。

この中で、ムラタがエレクトロニクス社会のイノベーターになるとともに、研究、開発、生産、その他すべての活動において、「資源エネルギーを浪費する製品を作らない」、「環境を破壊する生産方法を行わない」ことを常に意識し、環境に対する十分な配慮を行い、地球規模で環境との共生へ向けて努力することを誓っています。

今年度は、10年後を見越した「第3次環境行動計画」を新たに策定しました。この行動計画を基本に、持続可能な社会の実現に向け、環境保全にさらなる努力を続けていきます。

また、良き企業市民としての社会的責任を果たしていくためには、ムラタ及び社員一人ひとりが高い倫理観を持ち、法令、企業倫理規範、行動指針、その他の重要な手続きを遵守し、公正かつ誠実な経営を行う必要があります。

その実現のために「何をなすべきか」「何をしてはいけないか」をできるだけ具体的に示し、行動指針としてまとめています。そして、ムラタ及びムラタ社員が活動する際の行動規範となる倫理的価値を顕在化させる仕組みづくりを行っています。

環境や社会への配慮なくして企業の発展、繁栄はありません。ムラタは、これまでの取り組みをさらに発展させるだけでなく、目標値の達成に向けた重点的な取り組みを推進していきます。

そして、これらの取り組みを進めるなかで、ムラタ全体がエレクトロニクス社会のイノベーターになるとともに、全世界で厚い信頼を得る企業となることを目指していきます。

株式会社村田製作所
代表取締役社長
村田 泰隆

